

令和2年12月1日（火曜日）

安全・安心で強靱な国づくりへ大きくかじを

足立参院議員 災害対策特別委で質問

敏之事務所

参院災害対策特別委で質問に立つ足立氏（提供・足立



自民党の足立敏之参院議員は11月27日に開かれた参院災害対策特別委員会、今後の防災・減災、国土強靱化対策について質問した。公共投資を怠ってきた結果、「毎年大規模な水害や土砂災害が発生する極めて脆弱（ぜいじゃく）な国になってしまった」と主張。インフラの整備水準が韓国や中国と比べ二流、三流とも指摘した上で「日本はここで大きくかじを切って、安全・安心で強靱な国土、インフラも再び一流レベル

を取り戻す必要がある。そのため公共投資をしっかりと行っべきだ」と訴えた。

最終年度を迎えた防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策（2018～20年度）についても、5か年に延長し内容の充実に計り、別枠で当初予算に計上する必要性を強調した。

小此木八郎防災担当相は質問に対する答弁で「度重なる大きな災害の中で『備え』がいかに重要かを再認識している」と述べた。菅義偉首相が防災・減災、国土強靱化の推進など安全・安心の確保を柱の一つとする経済対策の策定と、20年度第3次補正予算案の編成を指示したことを踏まえ「災害に屈しない強さとしなやかさを持った国づくりに、必要、十分な予算を確保するよう努めていきたい」との考えを示した。